

発掘ニュース

第 26号

平成 元年 11月 6日

発行 財団法人 いわき市教育文化事業団
TEL 0246 (23) 9348

いずみじょうあと

泉城跡発掘調査

— いわき市泉町4丁目 —

泉城は泉藩2万石の城下町のシンボルとして親しまれています。このたび泉城内に公民館を新築することになり、発掘調査が行われました。調査面積は約1000㎡で、期間は平成元年10月から11月中旬の予定です。今回の調査では弥生時代から現在にいたるさまざまな遺物がみつかりました。今年はいくくも、寛ほんただかす政の名君本多忠籌公生誕 250年にあたり、調査によって大名の生活の一端が明らかになったことは大きな成果でした。ニュースでは調査の成果とともに、城下に残る遺構の数々を御紹介いたします。



泉城と城下町

わたしたちの城下町



①土塁（泉西公園）



②堀跡



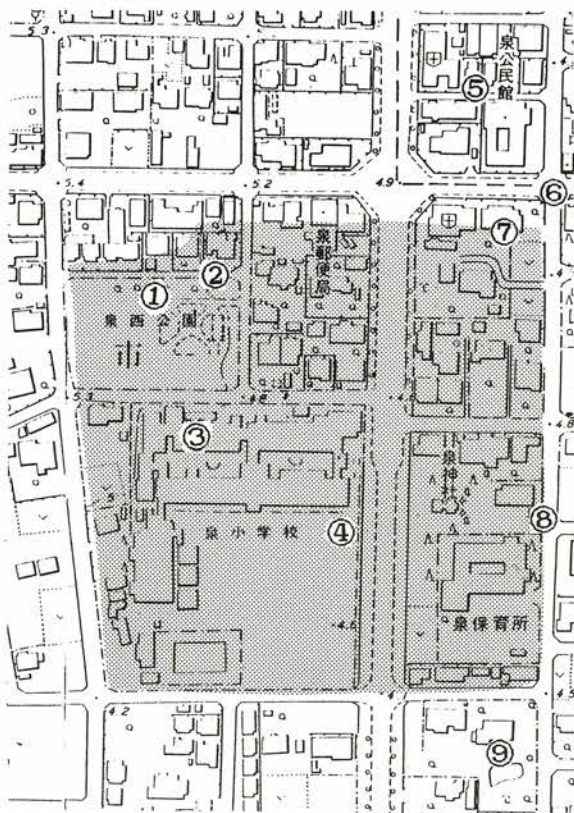
③発掘調査風景

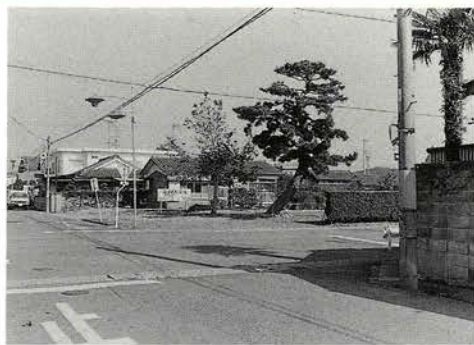


④泉城跡の碑（旧泉小学校校門付近）



⑤藩校の汲深館跡（泉公民館）

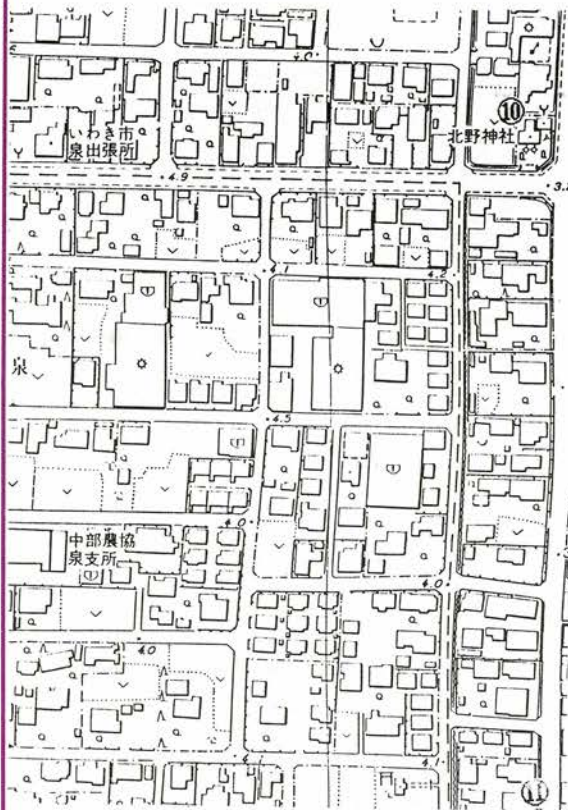




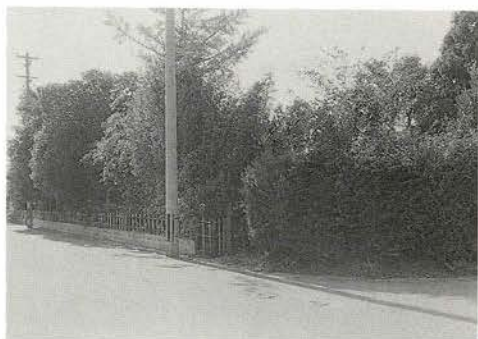
⑥大手木戸跡



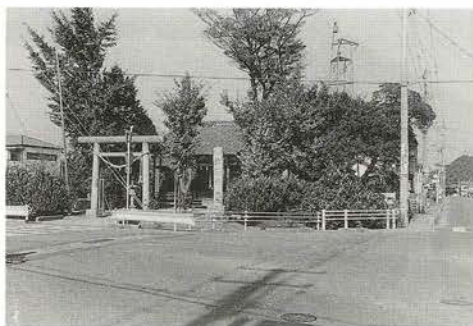
⑦土塁 (佐々木氏宅)



⑧大手門跡 (泉神社)



⑨上席家老本多氏屋敷跡



⑩北野神社



⑪移築した城門 (吉田氏宅)

調査でわかったこと

《原始・古代》

もっとも古い遺物は、今から2000年ほど前の弥生時代の土器です。奈良・平安時代の竪穴住居跡は、3棟みついています。旧泉小学校敷地全体に古代の集落が営まれていたことがわかりました。

《近世－江戸時代》

泉城は1668年に造営が始まりました。調査では江戸時代の生活用具が多量に出土しています。有田・備前・瀬戸・相馬などで焼かれた食器やキセル、建物の屋根にふかれた瓦など大名の暮らしがしのべられます。

《近代・現代》

調査区付近は明治以降、農場や学校などに利用されてきました。このころの食器や学用品もみついています。



大名の生活を語る磁器



上等の塩を入れた壺の蓋（市内初）



学校の建物基礎

泉城跡見学会のお知らせ

平成元年11月12日（日）午前10：00 場所：現地

交通手段：JR泉駅下車徒歩5分 雨天でも実施します。

連絡先 事業団23-9348 現地事務所：56-5628